

輝城会広報誌

2023年
春号

○身近な病の話

突然発症する大動脈解離

○施設紹介

「医療・介護総合支援センター」
設立のお知らせ

○院内処方の話

輝城会グループでは患者さんの
立場に立って院内処方を行っています

○認知症疾患医療センター

住民公開講座のご報告
認知症初期集中支援チームについて

子持ふれあい公園
撮影日：令和5年3月31日

突然発症する大動脈解離

大動脈解離は、最近増加傾向（年間発症数十万人あたり三人から十人）にあり、注目されている疾患です。突然、内膜の亀裂が大動脈に生じ、本来の腔である真腔と別に解離腔ができます(図1)。

その合併症は、解離腔からの破裂が致命的です。また解離腔が拡大すると真腔が圧迫されるため、大動脈から分岐する血管が巻き込まれさまざまな臓器障害を呈します。心臓の基部まで解離が広がると、大動脈弁閉鎖不全

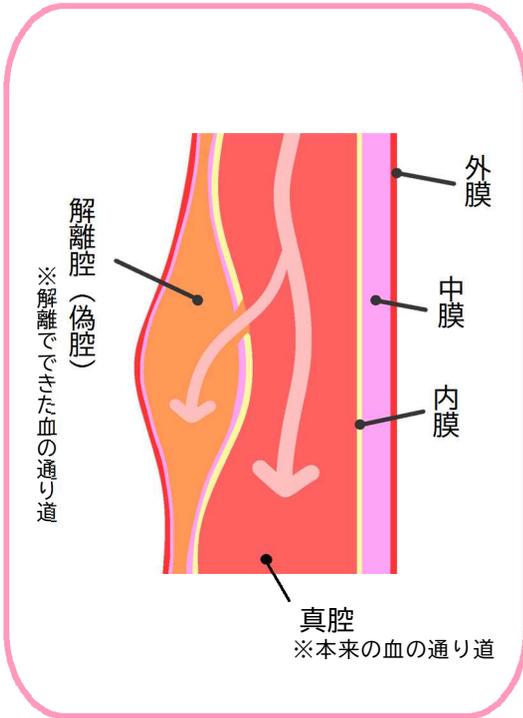


図1：大動脈解離

ると、大動脈弁閉鎖不全症や心筋梗塞、頸部分岐まで進展すると脳虚血症(一過性脳虚血発作から脳梗塞)、肋間動脈閉塞による対麻痺、腹腔動脈閉塞による消化管出血、腎動脈閉塞による急性腎不全、上腸間膜動脈閉塞による腸管壊死、下肢動脈閉塞による下肢虚血などがみられます。

上行大動脈が解離した場合は強い前胸部痛が、胸部下行大動脈が解離した場合は持続する背部痛や腰痛が見られ、疼痛部位が解離の進展により移動することが特徴的です。解離の範囲や亀裂の部位によるDeBakey分類(I型、II型、III型)とStanford分類(A型、B型)(図2)が一般的に用いられ、外科治療の適応や予後の予測に役立ちます。緊急入院後、診断がつき次第、直ちに降圧療法や疼痛療法を開始します。DeBakey I型やStanford A型の多くは、緊急手術(人工血管置換術)の適応になります(図3)。

DeBakey III型やStanford B型の多くは、降圧療法などの保存的療法が第一選択です。しかし疼痛が持続、降圧療法が困難、腸管が壊死し腹痛が持続するなどの臓器の虚血症状が持続する場合は、緊急手術(ステントグラフト)

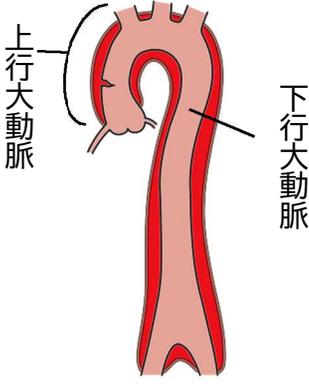
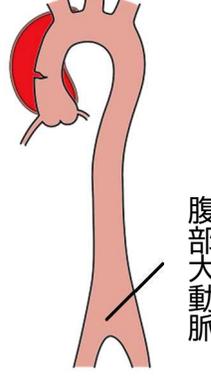
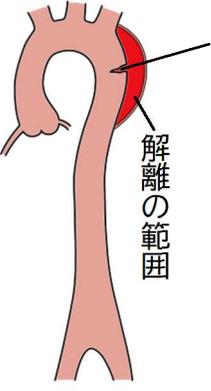
 <p>上行大動脈</p> <p>下行大動脈</p>	 <p>腹部大動脈</p>	 <p>内膜の亀裂</p> <p>解離の範囲</p>
<p>DeBakey分類 I型</p> <p>上行大動脈に入口部があり 腹部大動脈まで解離が及んでいる</p>	<p>DeBakey分類 II型</p> <p>上行大動脈のみ解離している</p>	<p>DeBakey分類 III型</p> <p>下行大動脈に入口部があり 腹部大動脈に解離が及んでいない</p>
<p>Stanford分類 A型</p> <p>上行大動脈に解離があるもの</p>		<p>Stanford分類 B型</p> <p>上行大動脈に解離がないもの</p>

図2：DeBakey分類（偽腔の血流による分類）とStanford分類（解離の範囲による分類）



図4：ステントグラフト内挿術

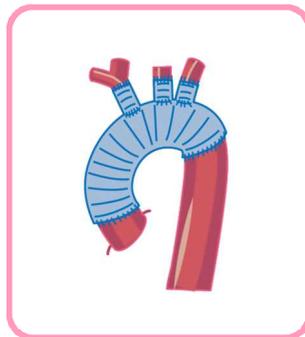


図3：人工血管置換術

ト挿術）の適応となります（図4）。この疾患の原因としては、マルファン症候群などの先天代謝異常を除くとほとんどが動脈硬化症と高血圧症です。動脈硬化症は全身病であり、糖尿病や脂質異常症の管理の徹底はもとより、禁煙や運動などの生活習慣の改善が非常に大切です。

◆ 認定資格 ◆

日本心臓血管外科学会 心臓血管外科専門医
 日本循環器学会 循環器専門医
 日本血管外科学会 心臓血管外科専門医
 日本脈管学会専門医
 腹部・胸部ステントグラフト指導医
 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術指導医
 脳梗塞rt-PA 適正使用講習会受講医
 医学博士



森下 篤 医師

社会医療法人輝城会
 副理事長
 沼田脳神経外科循環器科病院
 心臓血管外科部長

「医療・介護総合支援センター」 設立のお知らせ

本年、一月五日より、沼田脳神経外科循環器科病院では、入院部門と退院部門を一体化（相談窓口の一体化）し、手厚い支援を行っていく目的で、地域連携課と入退院支援部門の両機能を統合した「医療・介護総合支援センター」（以下、センター）が設立されました。

以前より、当院では患者サポート体制充実加算を厚生局に届出しており、医療ソーシャルワーカーなどが各種相談の対応をしています。

施設基準は以下の通りです（一部抜粋）。

（一）当該保険医療機関内に患者またはその家族（以

下「患者等」という。）から疾病に関する医学的な質問並びに生活上及び入院上の不安等、様々な相談に対応する窓口を設置していること。

（二）（一）における当該窓口は専任の医師、看護師、薬剤師、社会福祉士又はその他医療有資格者等が当該保険医療機関の標榜時間内において常時一名以上配置されており、患者等からの相談に対して相談内容に応じた適切な職種が対応できる体制をとっている必要がある。

センター設立に際しては、センター長に眞下副院長を迎え各専門職（医療ソーシャルワーカー三名、退院支

援看護師一名、事務員（医療対話推進者）一名、その他に兼任職員として、外来・病棟等の看護師・医療秘書・診療情報管理士・リハビリ・薬剤師・管理栄養士等）を配置して様々な相談に対応してまいります。



ここで、センターの主な業務内容をご紹介します。センターの業務は大きく分けて前方支援と後方支援の二つがあります。

【前方支援】

医療サービス（受診や入院等）を円滑に提供できるよう、患者さんや地域の医療機関等と当院を密接に繋ぐ架け橋となるのが「前方支援」です。患者さんやご家族からの受診・入院に関する相談、紹介患者の受診予約や検査・診療に関する相談窓口です。また、紹介医に対して検査結果及び受診の報告を行い、地域の医療機関と連携を図っています。

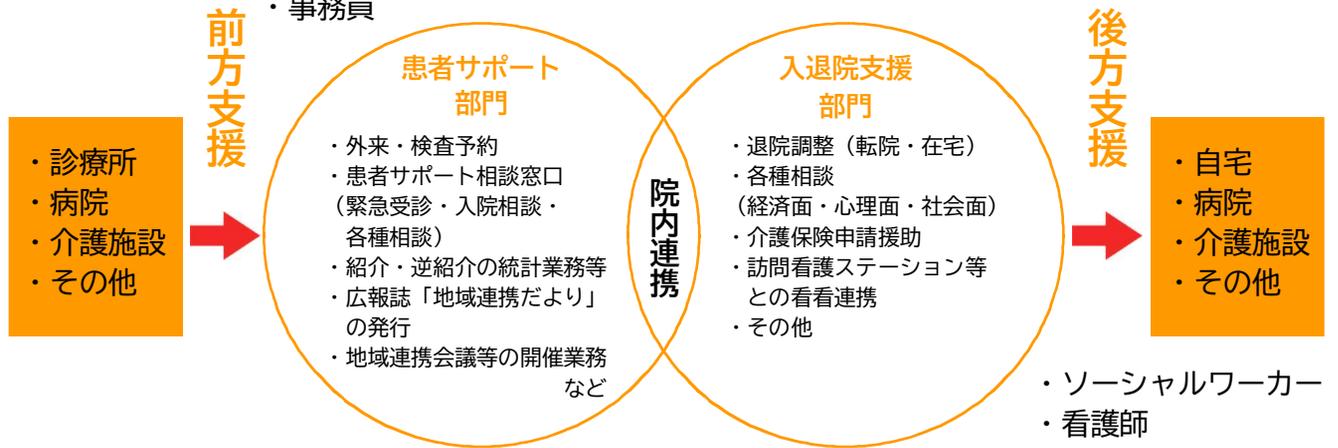
【後方支援】

当院から退院される患者さんに対する支援が「後方支援」です。地域の医療機関・介護施設やケアマネジャーと連携し、退院後の暮らしの相談やサポートを行います。医療制度だけでなく介護保険や福祉制度のアドバイスを行うこともあり、医療から介護にかけての幅広い知識が必要な業務です。そのため、医療機関だけでなく、介護施設や行政・福祉施設などの様々な分野で連携を行っています。

その他、「患者サポート相談窓口」を設置しており、医療ソーシャルワーカー（MSW）などの専門職が下記の相談に応じています。相談内容によって院内の他職種とも連携し、問題解決に向けたお手伝いをいたします。



- ・ソーシャルワーカー
- ・事務員



患者サポート相談窓口

当院では患者様やご家族のお困りごとに対して耳を傾け、何かお手伝いできないかと考えています。このようなお悩みはありませんか？



医療安全管理者による相談支援も受けられます

相談受付時間 午前8:50～12:00
午後2:00～5:00

※日曜・祝日・年末年始(12月30日～1月3日)は除く

お電話でもけっこうです。お気軽にご相談ください。

【相談内容】

- 退院後の生活や介護について
- 転院や施設入所に関すること
- 入院中の療養生活に関すること
- 福祉制度やその手続きについてなど

センターでは、患者さん・ご家族の視点に立って、相談者の不安の解消の取り組みや療養・生活支援等の支援を行います。今後も赤尾院長並びにセンター長の眞下副院長を中心に、多職種による患者さん・ご家族の支援や関係職との連携の強化に取り組んでいきます。



輝城会グループでは患者さんの立場に立って院内処方を行っています。

病院で診察を受けた後の薬の受け取り方として、診察を受けた医療機関の薬局で薬を処方してもらう「院内処方」と、院外の調剤薬局で薬を処方してもらう「院外処方」の2つがあります。当グループの医療機関（沼田脳神経外科循環器科病院・沼田クリニック・吾妻脳神経外科循環器科）では、開院時から今日まで、「少しでも患者さんの負担を減らしたい」という思いから患者さんにとってメリッとの多い院内処方を継続しております。

体調のすぐれない方、小さなお子さんがいる親御さんにとっては、病院を出て薬局まで移動するのは大変ではないでしょうか。院内処方の場合、

薬局に行く手間が省け、会計も一度で済ませることができます。また、調剤薬局への手数料等の負担がないため、患者さんの自己負担額を抑えることができます。

一方で調剤時間がかかるといふ欠点があります。特に分包（服用時期が同じ薬や1回に何種類かの錠剤を服用する場合にそれらをまとめて1袋にすること）の方はお時間を頂戴しております。当グループでは対策として、分包せずにシート状（アルミから押し出す方法）でお薬をお渡しする方法も採っています。また、医療費の支払いや薬の受け取りを後日にして待ち時間を減らすこともできます。沼田脳神経外科循環器科病院

と沼田クリニックでは、お薬の配送を承っております。

他にも、複数医療機関を受診する方の場合、正確な服薬情報の把握が難しいといった点が挙げられますが、お薬手帳を活用していただくことで、医師や薬剤師が薬の重複や飲み合わせを確認することができます。

このように院内処方にも一長一短ありますが、これらも当グループでは患者さんにとって経済性と利便性の高い院内処方を継続して参ります。ご理解とご協力の程よろしくお願いたします。



分包



シート状

当グループが院内処方をおすすめする理由

- ・調剤薬局への手数料等がないため安価に薬を提供できる
- ・飲み合わせや残薬の調整等、処方医師にすぐに確認ができる
- ・薬局に行く手間が省け、会計も一度で済む
- ・医師が使い慣れている薬を提供できる
- ・薬剤師以外でも薬への知識・理解が深まるため相談しやすい

吾妻脳神経外科循環器科・認知症疾患医療センター

住民公開講座のご報告

吾妻脳神経外科循環器科では、平成二十八年四月一日に群馬県から指定を受け、群馬県認知症疾患医療センター（連携型、旧称は診療所型）を開設しました。センターの事業内容は多岐にわたりますが、事業の一環として普及啓発活動を行っており、認知症に携わる医療関係者のみならず地域の皆様にも認知症のことを知っていただけるよう、住民公開講座を毎年開催しております。第七回目となる今回は、令和五年三月二十六日（日）に開催しましたが、今回も新型コロナウイルス配信での開催となりました。プログラムは久保田院長の挨拶、吾妻郡医師会長の布施正博先生にご挨拶をいただいたのち、私、センター事務局の竹之内より『認知症疾患医療センター活動報告』と題し、吾妻脳

神経外科循環器科及び認知症疾患医療センターの概要や活動実績などについてご報告いたしました。続いて認知症疾患医療センター長である久保田院長が、『どうする認知症』と題し、講演を行いました。加齢に伴う物忘れと認知症の違い、認知症の症状や予防方法などについて分かりやすく説明しました。なお、アンケートではご満足いただいた旨の回答が多く、「とてもためになりました。」「今後もどんどん活動をしていただきたいです。」「など、沢山のお褒めの言葉をいただきました。結びになります。一日でも早くコロナ禍を乗り越え、また対面で開催できる日が来ることを切に願うばかりです。



認知症初期集中支援チームについて

「認知症初期集中支援チーム」は、認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けるために複数の専門職が認知症の疑われる方や認知症の方及びその家族を訪問し、初期支援を包括的・集中的に行い、自立した生活のサポートを行うチームとなっています。

吾妻郡では当院が全町村からの委託で平成二十九年四月より「認知症初期集中支援推進事業」の指定を受けています。

当院では認知症サポート医をはじめ看護師等がチーム員となっており、家族や地域包括支援センター等からの訴えを受けて対象者のお住まいを訪問し、支援を行っています。支援内容は認知症の評価、適切な医療機関への受診勧奨、適切な介護サービスの案内などが挙げられ、支援方針はチーム会議で検討を行います。なお、対象者は四十

歳以上、在宅で生活しており、かつ認知症が疑われる方または認知症の方が前提となります。さらにその中で、認知症疾患の臨床診断を受けていない方、適切な介護サービスに結び付いていない方等が対象となります。

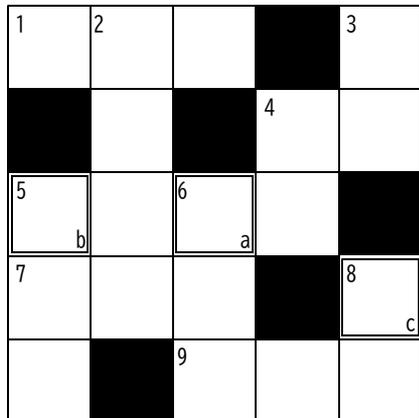
また、介入期間は最長で概ね六カ月となっておりますが、継続した医療サービスや介護サービスの利用に繋げることが大きな役割であることから、その後のサポートを継続して行っていくだけという、地域包括支援センターやケアマネジャー等の各関係機関へ情報提供や引き継ぎを行います。

当チームの活動実績はまだまだ少なく、チームが能動的かつ効率的に活動するため、より有効な手法を検討・検証し事業を進めていきたいと考えています。

吾妻脳神経外科循環器科
認知症疾患医療センター
事務局 竹之内 優

クロスワードパズル

タテ、ヨコのカギをヒントに解きます。
二重線で囲まれた a～c 文字を並べ変えてできる言葉が答えです。



タテのカギ

- 牛・羊などを飼育し、乳を生産したり乳製品を製造する農業。
- 体が大きく力の強い動物。古くから家畜として飼われている。
- 日本語を書き表すために漢字をもとにして日本で考え出された音節文字。
- カード状の板、または紙に人名を表示したもの。
- 学問（その道）に広く通じた人。
- 人や車が往来する所。通路、道路。

ヨコのカギ

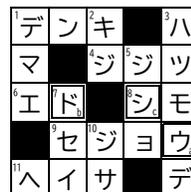
- 海水魚。水深10～200mの砂地。旬は本州などでは秋から冬。北海道では春、初夏まで美味。
- お茶うけやおやつなどにする間食用の食べ物。餡玉。饅頭。ケーキなど。
- 春が見ごろを迎えるアブラナの花。
- 岩石が長い間空気にさらされてくずれ、土になる現象。
- 備え付けること。機関や施設などをつくること。

答え

a b c

前回の
クロスワードパズル

答え ウドシ



提供元：クロスワード.jp 改

輝城会グループ

医療施設

沼田脳神経外科循環器科病院

〒378-0014 沼田市栄町8
TEL 0278-22-5052
(ドック直通)0120-40-2288

沼田クリニック

〒378-0014 沼田市栄町61-3
TEL 0278-22-1188

沼田クリニック 歯科

〒378-0014 沼田市栄町61-3
TEL 0278-30-3003

吾妻脳神経外科循環器科

〒377-0801 吾妻郡東吾妻町大字原町760-1
TEL 0279-68-5211

城西クリニック

〒371-0033 前橋市国領町二丁目13-23
TEL 027-234-7321

介護施設

あがつま在宅ケアセンター

〒377-0801 吾妻郡東吾妻町大字原町705-1
TEL 0279-68-5488
(訪問介護直通)0279-25-8131

かがやき在宅ケアセンター

〒377-0801 吾妻郡東吾妻町大字原町705-1
TEL 0279-26-2680

みんなの家なかんじょ

〒377-0424 吾妻郡中之条町大字中之条町967
TEL 0279-75-4165

なかんじょ在宅ケアセンター

〒377-0424 吾妻郡中之条町大字中之条町1869-5
TEL 0279-75-2800

かがやき訪問看護ステーション

〒377-0801 吾妻郡東吾妻町大字原町5278
TEL 0279-25-8110

かがやき訪問看護ステーション渋川

〒377-0008 渋川市渋川1192-1 上毛ビル2F
TEL 0279-26-7268

特別養護老人ホーム菜の花館

〒379-1203 利根郡昭和村大字系井1757-311
TEL 0278-30-3331

菜の花館園原

〒378-0324 沼田市利根町園原870
TEL 0278-56-9200

みんなんち園原

〒378-0324 沼田市利根町園原871
TEL 0278-56-9210

菜の花館本町通り

〒378-0047 沼田市上之町1149
TEL 0278-22-5551

ナーシングケア本町通り

なのはな訪問看護ステーション
〒378-0047 沼田市上之町1149
TEL 0278-22-3355

輝城会となごみの杜広報誌『輝城会広報誌』では、皆様からのご意見や感想をお待ちしています。

お名前などの個人情報は、一切掲載いたしません。匿名でご投稿いただいても結構です。
また、診療に関する個人的な質問やご意見はこちらでは受け付けておりませんのでご了承ください。

- ・はがきなどの場合 〒378-0014 群馬県沼田市栄町8番地 輝城会グループ 広報
- ・電子メールの場合 pr-section@kijokai.or.jp



<https://kijokai.or.jp/>